

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ(<http://www.miegyoren.or.jp/>)での閲覧を推奨します(PDF ファイル)。

「水産多面的機能発揮対策事業」本格始動

—水産庁補助事業・今年度から—

今年度から全国各地で始まった水産多面的機能発揮対策事業(水産庁補助事業)が本格的に動き始めた。本事業は、前身の環境・生態系保全活動支援事業を継承する形で導入され、初年度となる今年度は約 35 億円の予算規模。事業実施期間は平成 27 年度までの 3 カ年の予定。

事業の仕組みは、漁業者を中心としたメンバーで構成される活動グループ(以下、「活動組織」)が国の定めるメニューを選択してそれぞれの活動拠点において、事業を実施していくもの。今回の事業の特徴としては、これまでの藻場や干潟の保全に加えて、国境の警備や海難救助訓練等の実施、種苗放流(魚種は限定的)などのほか、これまで主に漁業者や漁協などがボランティアで活動していた小中学生の体験学習あるいは郷土料理教室などもメニューに加わり、活動の規模と範囲が確実に広がったことにある。さらには、これまで対象となっていなかった河川地域の活動も対象となったことから、内水面漁協関係者も事業に参画できることとなった。活動メニューには河川敷のヨシ帯の整備や清掃活動も含まれているため、これまで台風や大雨等で河川から大量に流れ出して漁業者を苦しめていたゴミ被害の軽減につながる可能性も出て

きた。

去る 8 月 6 日、8 日、9 日には、県内 3 会場で実務担当者会議が開催され、3 日間で約 70 名が出席し、事業実施に当たっての注意点や事務手続きの仕方、活動記録の方法などについての研修と意見交換が行われた。いずれの会場においても、事務作業や事業費の使途などについて出席者からたくさんの質問や意見が出され、活発な意見交換がなされた。

また、8 月 29 日から 9 月 20 日にかけては全国 4 会場(札幌、福岡、大阪、東京)で水産多面的機能発揮対策講習会(主催:全漁連)が開催され、一般講習のほか、各地の先進事例報告や意見交換が予定されており、本県からも藻場および干潟の保全活動から 3 題の事例が報告されることとなっている。

本県では、県内各地で 33 の活動組織(うち内水面関係 8 組織)が機能発揮対策活動に取り組む。すぐには成果が見えにくい事業ではあるが、漁業者らの地道な努力によって、将来的に漁業生産力の向上および浜の活性化につながることを期待したい。

《事業に関するお問い合わせ》

三重県水産多面的機能発揮対策協議会
(三重漁連指導部内 TEL059-228-1205)

お知らせ

三重県海苔漁期前研修会の開催
- 8/29 松阪市・華王殿で -

県漁連および三重県黒ノリ養殖研究会（大橋純郎会長）は、来る 8 月 29 日に華王殿（松阪市）において、恒例の三重県海苔漁期前研修会を開催する。

本県の黒ノリ養殖業を取り巻く環境は、他の漁業種類に違わず、厳しい状況にある。昭和 40 年代後半には約 4,000 経営体もあったのが平成 24 年度には 141 経営体と、全盛期の約 30 分の 1 にまで減少しており、その影響を受けて生産数量も全盛期の約 4 分の 1 に落ち込んでいる。

海苔 1 枚当たりの単価は、昨年度漁期は 7.42 円と過去最低を記録し、生産者は大量生産時代の余波を受け、色落ちやバリカン症被害により収量および品質の低下に悩まされ、さらに資材代や燃油代の高騰等の煽りを受け、経営は決して楽ではない。

それでも、ノリ養殖にかける生産者の想いは熱く、同研修会では毎年 100 名以上の参加者で会場は埋め尽くされる。また、昨年からは始まった新人海苔師の紹介コーナーでは、今年は 5 名の生産者が紹介される予定だ。

さらに、研修会の後半には公開座談会「若手海苔師らの本気トーク」が予定されており、若手生産者らの本音にせまる企画も盛り込まれている。開催内容は以下のとおり。

開会 9:00 ①今漁期の対策等について（漁連購販事業部のり海藻課）②今年度のノリ関係事業の進め方等について（漁連指導部）③海苔業界の現状と今後の課題（海苔産業情報センター藤井弘治氏）④漁業経営セーフティネット構築事業について（漁連指導部）⑤新人海苔師紹介⑥三重の技海苔師認定書授与式⑦今漁期の生産対策、品種開発等について（三重県水産研究所鈴鹿水産研究室）⑧公開座談会「若手海苔師たちの本気トーク」閉会 16:00

《研修会に関するお問い合わせ》

三重漁連指導部 TEL059-228-1205

大好評！伊勢海老刺し網オーナー募集
のお知らせ - 三重外湾漁協和具青壮年部 -

毎年、大好評の和具青壮年部による伊勢海老刺し網オーナー制度の募集が始まった。募集期間は 8 月 19 日から 9 月 15 日まで。

これは、オーナー希望者がイセエビ刺し網漁船 4 隻の船長の写真、プロフィールなどを見てどの船のオーナーになるかを決め、1 口 15,000 円でオーナー網元となる。その後、網揚げ日（今年は 10 月 26 日）に、その網にかかった伊勢海老とその他の魚をオーナー網元らで山分けするというもの。希望者は乗船して網揚げ体験をすることも可能だ。魚市場で“獲物”を分配して解散となるが、主催者が用意したバーベキューコンロで獲れたての魚介類をその場で焼いて食べることもできる。不漁の時でもイセエビ 1kg（2～4 尾）とヒオウギ貝 5 個が最低保証されている。ホームページの漁師紹介から船長のプロフィールを見ると、顔写真から年齢、漁師歴や昨年実績、趣味まで書かれており、希望者は楽しみながら選ぶことができそうだ。

詳しくは、ホームページ

<http://www.suncraft.com/wagu/iseebi/> をご覧いただくか三重外湾漁協和具青壮年部（tel0599-85-1121 平日午前 9 時～午後 5 時まで 担当/大山さん）までご連絡を。

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。